












人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

	患者氏名	主 治 医	受け持ち看護師					
月 日	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 月 日～退院まで	退院からの注意事項
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 手術後の状態について不明な点は医療者に質問理解できる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に向けて体と心の準備ができる。 食べた飲み飲んだり出来ないことが守れる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仰臥位でのベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれが予防できる。 股関節が脱臼しやすい足の位置を知り、注意することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仰臥位でのベッド上安静を守る事ができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、神経麻痺が起こらないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれが予防できる。 股関節が脱臼しやすい足の位置を知り、注意することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンが抜けて歩行または車椅子に移乗できる。 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 リハビリテーションに参加できる。 リハビリテーションに参加できる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 創傷や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 脱臼予防を続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 転倒予防行動をとることができる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 発熱がない。 リハビリテーションに参加できる。 安静度が理解できる。 足関節の底背屈運動ができる。 創傷や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる。 	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 21時頃に下剤を飲みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術日の朝の5時～6時に洗顔を行います。指示された薬のみ内服します。 手術は()番目です。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、病棟で点滴を行い、連絡が来たら手術室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴、ドレーンがあります。 自己血を輸血します。 心電図モニターと肺塞栓症予防のために足にフットポンプをつけます。 痛みがあるときは軽い痛みでも痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでいた薬を再開します。 新たに鎮痛剤の内服が開始となります。内服薬の自己管理が出来るまで看護師が配ります。 自己血を輸血します。 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。 傷の消毒を行い、ドレーンを取ります。 リハビリテーションが開始となります。 リハビリテーション室は2階にあり、時間は朝に看護師が伝えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後11日～14日の間に傷を確認し換薬を行います。 リハビリテーションを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> <退院後の生活について> 和式トイレにはかふせ式便座やポータブルトイレを使用します。【入浴の際の注意点】 滑り止めや浴用椅子を使用しましょう。 【体重コントロールについて】 標準体重を目標としましょう。 【感染予防について】 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。また、荷重の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう。 【転倒予防について】 入院中に実践していた転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください。 【脱臼予防について】 退院後も脱臼部位に気をつけて生活しましょう。 【外来受診とリハビリテーションについて】 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します。 【内服について】 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 尿室の前に採血があります。 心電図、肺機能、レントゲンがあります。検査の呼び出しは連絡があるのでお待ちください。 検査がある方は尿コップを渡します。尿検査は14時までに提出してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な検査がある場合のみ行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて採血やレントゲン撮影を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。また、荷重の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう。 【転倒予防について】 入院中に実践していた転倒予防行動を継続し、転倒しないように注意してください。 【脱臼予防について】 退院後も脱臼部位に気をつけて生活しましょう。 【外来受診とリハビリテーションについて】 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します。 【内服について】 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します。 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 転倒予防のため必ず履のある靴を履きましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 手術当日はベッド上安静です。 股関節脱臼予防のため、寝返りはできません。体の向きを変える時は看護師の介助が必要です。ナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。ベッドのリクライニングの頭は上げることができます。 ドレーンの抜去防止のために看護師がベッドの操作を行いますので、ナースコールでお知らせください。 1人で体の向きを変えることができます。ナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。 初回の歩行は医師とともに行います。 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> <脱臼予防について> 左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 身の回りの整理整頓を行います。 歩行器を使用する場合は、グリップがながく滑りやすくなります。立ち上がる時などは支えにはしないようにしましょう。 テーブルを支えにして歩いたり、立ち上がらないようにしましょう。ストッパーがからないものがあり、危険です。 履き慣れた靴を使用しましょう。 脱臼予防を継続しましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食よりお部屋に配膳します。 	<ul style="list-style-type: none"> 絶食絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医師の指定された時間まで水分(水・お茶のみ可)を摂ることができます。絶食絶食の時間をお守りください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は絶食になります。飲水は看護師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前と同様の食事が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器での歩行を開始します。 初回の歩行は医師とともに行います。 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際はナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が可能な場合は、主治医の指示のもと弾性ストッキングを履くことができます。 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続を行ってください。尚、書類作成には約2週間かかります。 <退院日> 病棟クラーク(事務職員)が会計票、看護師が預けている内服薬を病室までお持ちします。病室でお持ちください。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーに入ってください。介助が必要な方は看護師が介助します。 体に傷がある際はお知らせください。 爪切りを行います。 化粧やマニキュア等はとってください。 		<ul style="list-style-type: none"> シャワーや体拭きはできません。 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師が体を拭きます。(ベッド上でも行うことができます) 医師の許可があるまでシャワーには入れません。 洗髪や足を洗うことは患者さんと話し合いながら計画を立てています。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の換薬が終わり、医師が確認した後にシャワーの許可が出ます。 シャワーの許可が出たら、看護師がシャワーの介助をします。 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツや便器を使用しての排泄になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管の管を抜きます。排泄と排便はトイレで行う事ができます。 			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク(事務職員)が病棟の案内を行います。 カニカニカニカニに沿って手術前オリエンテーションを実施します。 主治医から手術説明、麻酔科医師から麻酔の説明があります。手術説明は家族同伴で行いますので、そのまま帰らずにお部屋でお待ち下さい。 手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 麻酔同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリテーション同意書 【ご家族の方へ】 病室へ入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前オリエンテーションを行います。 深呼吸の訓練をしましょう。 カニカニカニカニに沿って手術前オリエンテーションを実施します。 術後は、病室が変わりますので部屋移動については看護師が説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 化粧はしてはいけません。 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布を外してください。 手術前に着替えて術室まで移動するための弾性ストッキングを履きます。 トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します。 ご家族は、手術室入室前までには直接病室へお越しください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後は、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。麻酔が切れると徐々に足が動くようになってきます。足が動かない場合はナースコールでお知らせください。 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップをしましょう。 説明書が配付しないように、外服や内服にならないよう足の間に枕をはさみます。真っ直ぐな足の位置を意識するようにしましょう。 主治医より、患者・家族へ手術の経過について説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> <転倒・脱臼予防について> 左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 身の回りの整理整頓を行います。 歩行器を使用する場合は、グリップがながく滑りやすくなります。立ち上がる時などは支えにはしないようにしましょう。 テーブルを支えにして歩いたり、立ち上がらないようにしましょう。ストッパーがからないものがあり、危険です。 履き慣れた靴を使用しましょう。 脱臼予防を継続しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が可能な場合は、主治医の指示のもと弾性ストッキングを履くことができます。 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続を行ってください。尚、書類作成には約2週間かかります。 <退院日> 病棟クラーク(事務職員)が会計票、看護師が預けている内服薬を病室までお持ちします。病室でお持ちください。 		
手術の準備物品	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日までに以下の物品を準備してください。自宅で手足の爪切りをしてください。 1字帯2枚、平オムツ1枚(1層のローソクに先をつけています)、曲がるストローまたは薬のみ、必要時スプーンやフォーク、柄つきブラシ(シャワー浴で足を洗うのに便利です) 手術当日より、病室借用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要ですので看護師へ申し出てください。 手術後リハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいスポンを準備してください。 							

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸理由で経過通りにならない場合もありますことご了承ください。